

ロイスダール弦楽四重奏団

TSUKEMEN スペシャルコンサート

2019年3月27日(水) 13:00 ~ 15:30 (開場: 12:30)

国立西洋美術館 企画展示館地下2階 (ロビー・講堂)

「ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代」のチケット(半券可)が必要です。

◆定員50名 ※当日12:00~館内で整理券を配付いたします。定員に達した際はご入場いただけません。おひとり1枚まで。

当館に所蔵されているオランダの画家と同じ名を持つ「ロイスダール弦楽四重奏団」と、Wヴァイオリン&ピアノによる3人組インスト・ユニット「TSUKEMEN」のコンサートを開催いたします。

開催中の「ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代」展に合わせ、ル・コルビュジエの弟子でもあったクセナキスが作曲した楽曲や、人気の楽曲などを演奏いたします。この日限りのスペシャルコラボもお楽しみに！また、演奏を楽しんでいた後は、「建築と音楽」というテーマで、ミニトークショーを行います。展覧会と合わせてご参加ください。

※このイベントにはJ:COMの番組撮影が入ります。予めご了承ください。

スケジュール (予定)

- 13:00-13:50 TSUKEMEN ライブ / TSUKEMEN × ロイスダール弦楽四重奏団スペシャルコラボ **ロビー**
- 13:50-14:00 ご休憩・お席移動 (参加者のみなさまには、ロビーから、講堂へご移動いただきます)
- 14:00-14:50 ロイスダール弦楽四重奏団 コンサート **講堂**
- 14:50-15:30 ロイスダール弦楽四重奏団 × TSUKEMEN ミニトークショー「建築と音楽」 **講堂**

※当日の状況により、お時間は前後する場合がございます。



ロイスダール弦楽四重奏団

印象的な風景と空の描写で有名なオランダの画家、ヤーコブ・ファン・ロイスダールにインスパイアされた力強い演奏と、ニュアンスに富んだ音の色彩を特徴とするロイスダール弦楽四重奏団は、1996年に当時ハーグ音楽院で学んでいたメンバーで構成された。アマデウス弦楽四重奏団やアルバン・ベルク弦楽四重奏団など著名なカルテットに師事し、わずか数年のうちにオランダ国内外で名をはせる。以来、各地の音楽祭やマスタークラスに招聘され、欧州やアメリカ合衆国を中心に積極的に活動している。オランダのチャールズ・ヘネン国際室内楽コンクール優勝をはじめ、ポルドーで開催された国際弦楽四重奏コンクールでは SACEM 賞を受賞。また、アムステルダムでのコンサートヘボウの Vriendenkrans コンクールにおいて、プレス賞と AVRO 賞を受賞するなど、数々の賞を受賞。現代楽曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、作曲家とのコラボレーションにより数々の演奏を行っている。

TSUKEMEN

Wヴァイオリン (TAIRIKU・KENTA) とピアノ (SUGURU) のインストゥルメンタル・ユニット。メンバー全員が音楽大学出身、それぞれが作曲を手掛けている。2008年にサントリーホール・ブルーローズでコンサートデビューを果たし、2010年にキングレコードよりアルバム『BASARA』にてメジャーデビュー。昨年、10周年記念アルバム「X」(テン)を発表した。デビューから500本を超える公演を開催し、現在までにのべ40万人以上の観客を動員している。

日本国内だけでなくとどまらず、ニューヨーク、韓国での公演を経て、2014年にはドイツにて名門「シュトゥットガルト室内管弦楽団」とTSUKEMENの完全オリジナル楽曲で共演。2015年にはクラシックの殿堂と言われるオーストリアの「ウィーン楽友協会 黄金の間大ホール」での公演を満席の中大成功を収めた。クラシックでもない、ポピュラーでもない、「TSUKEMEN」というジャンルが確立されている。



ロイスダール弦楽四重奏団・プログラム

- ♪ アンドリーセン：弦楽四重奏曲《ミゼレーレ》
- ♪ クセナキス：独奏ヴァイオリン曲《ミッカ》
- ♪ モーツァルト：弦楽四重奏曲《狩》
- ♪ ピアソラ-バッハ：《リベルタンゴ - プレリューディウム - 天使の死》

※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。

Le Corbusier and the Age of Purism

世界遺産 国立西洋美術館開館60周年記念

ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代

[本館]

2019年2月19日(火) — 2019年5月19日(日)

開館時間 | 9:30 ~ 17:30 (金曜、土曜は 20:00 まで)

休館日 | 月曜日、(ただし3月25日、4月29日、5月6日は開館)、5月7日(火)



シャルル=エドゥアール・ジャンヌレ (ル・コルビュジエ)

《多数のオブジェのある静物》

1923年 油彩、カンヴァス 114×146cm

パリ、ル・コルビュジエ財団

©FLC/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 B0365

◆ 展覧会公式サイト <https://lecorbusier2019.jp> ◆ 展覧会公式 SNS [Twitter](#) [Facebook](#) @lecorbusier2019

20世紀建築の巨匠ル・コルビュジエ(1887-1965)が設計した国立西洋美術館本館は、2016年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。開館60周年を記念して開催される本展は、若きシャルル=エドゥアール・ジャンヌレ(ル・コルビュジエの本名)が故郷のスイスを離れ、芸術の中心地パリで「ピュリスム(純粋主義)」の運動を推進した時代に焦点をあて、絵画、建築、都市計画、出版、インテリア・デザインなど多方面にわたった約10年間の活動を振り返ります。第一次大戦の終結直後の1918年末、ジャンヌレと画家アメデ・オザンファンは、機械文明の進歩に対応した「構築と総合」の芸術を唱えるピュリスムの運動を始めました。そして、絵画制作に取り組みながら新しい建築の創造をめざしたジャンヌレは、1920年代パリの美術界の先端を行く芸術家たちとの交流から大きな糧を得て、近代建築の旗手「ル・コルビュジエ」へと生まれ変わります。

本展はル・コルビュジエと彼の友人たちの美術作品約100点に、建築模型、出版物、映像など多数の資料を加えて構成されます。ル・コルビュジエが世に出た時代の精神を、彼自身が作り出した世界遺産建築の中で体感できる、またとない機会となるでしょう。

夜間開室時間延長のお知らせ — 金・土は 20:00 まで! —

毎週、金曜・土曜は、常設展、「ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代」展とともに、20:00までご覧いただけます。ゴールデンウィーク中は常設展は連日 21:00 まで開室延長いたします。(※「ル・コルビュジエ」展は、ゴールデンウィーク中も金曜土曜は 20:00、その他は 17:30 までとなります。)
夜の美術館でゆったりと展示をお楽しみください。

2019年3月							4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24 31	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				26	27	28	29	30	31	

※5月20日(月)~6月3日(月)まで全館休館

■ 休館日 ■ 開室時間延長(9:30~20:00) ■ ゴールデンウィーク/常設展のみ 開室時間延長(9:30~21:00)

■ プレミアムフライデー/常設展(9:30~21:00), ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代(9:30~20:00)

国立西洋美術館 The National Museum of Western Art

国立西洋美術館ではフランス近代の絵画・彫刻を中心とした「松方コレクション」を基礎とし、14世紀から20世紀半ばまでの西洋の美術作品の展示を行っています。2016年7月、「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」の構成資産のひとつとして世界文化遺産に登録されました。

公式 Twitter [@NMWATokyo](#)

イベント情報などは
こちらでも発信しています!

お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
国立西洋美術館ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>

[東京 上野公園]

〒110-0007 東京都台東区上野公園7番7号



JR上野駅下車(公園口出口)徒歩1分/京成電鉄京成上野駅下車
徒歩7分/東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分
※美術館には駐車場はございません。